

科目分類	助産学実践科目 実習			開講時期	1年 後期	
授業科目	助産学実習 I (妊娠期)					
選択/必修	必修	単位数 (時間数)	1 単位	4 5 時間	授業形態	実習
担当教員	木下 珠希 ・ 窪田 裕子 ・ 田中 真穂					
メールアドレス	t-kinoshita@tsuruga-nu.ac.jp(木下) y-kubota@tsuruga-nu.ac.jp(窪田) m-tanaka@tsuruga-nu.ac.jp(田中)	オフィスアワー	事前にメール連絡してください			

到達目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 妊婦及び胎児の健康診査ができる。 2. 妊婦の保健指導の内容と方法について説明でき、一部実施できる 3. 妊婦及び胎児の健康診査の結果、異常への逸脱兆候について助言を得て判断できる。 4. 保健指導 (集団) の意義と必要性について説明できる。
授業概要	妊婦の健康診査と保健指導を実践できる能力、妊婦の健康検査の結果、異常への逸脱徴候について助言を得て判断できる能力など、妊婦と家族に対する助産診断及び援助技術を習得する。
授業内容	<ol style="list-style-type: none"> 1. 実習期間：前期及び後期 (9月～12月) 2. 実習方法： <ol style="list-style-type: none"> 1) 産婦人科外来において実施される健康診査・保健指導 (個別・集団) ・診察・検査・治療の介助及び外来の環境について、見学または一部実施することによって理解する。 2) 継続事例を一例受け持ち (産後1か月健康診査まで)、助産過程の展開を実施し、健康診査及び保健指導を見学及び一部実施する。 3. 実習施設 (予定)： <p>敦賀市立病院 産科・婦人科 井上クリニック 福井県済生会病院 神野レディースクリニック しのはら産婦人科医院 瀧澤助産院</p> <p>*詳細は実習要項参照</p>
教科書・参考書等	周産期の診断と技術 I (妊娠期・胎児期) の教科書・参考図書に準じる。
成績評価基準・方法	実習要項に記載する方法・基準により評価する。

履修要件	なし
留意事項・ その他	健康管理に注意し、実習に臨んで下さい。 実習の姿勢として、主体的な学修を積み上げていけるような行動ができることを期待します。